



Peace  
ピースリレーって？

ピースリレーは、「平和の尊さ」「核兵器廃絶」「平和について考えることの大切さ」を広く社会に訴えたり、より多くの人と共に行動できる機会として、1970年代から、平和を願って歩いています。



# ピースリレー 2022 平和の思いをつなげよう

161名参加

5月9日

～御堂筋～

<後援>  
枚方市・寝屋川市・門真市・守口市・四條畷市・大東市・交野市・大阪市・枚方市教育委員会・寝屋川市教育委員会・門真市教育委員会・守口市教育委員会・四條畷市教育委員会・大東市教育委員会・交野市教育委員会・大阪市教育委員会



「平和4姉妹プラス1」のみなさんも、鮮やかな7色ズボンに着替えて組員さんと一緒に行進



集会後、スタンディングのメンバーはそのまま中央公会堂前でアピール



## 酒徳さんのお話しと平和4姉妹(へいわししまい)プラス1のみなさんによる平和への思いに胸が打たれました

平和4姉妹のみなさんは、平和行進で出会い、血は繋がっていませんが想いで繋がっているメンバー。大阪・静岡・神奈川・岡山の生協組員で、日本各地の平和活動に参加されています(今回は4女の語り部仲間の方も入れてプラス1)。住之江区在住の「長女」酒徳さんは「毎年ピースリレーに参加する思い」を、「4女」加百さんからは「被爆2世としてお母様の被爆体験」を語っていただきました。



## 「岡山被爆2世・3世の会」語り部の加百智津子さんのお話(抜粋)

私の母は原爆ドームから1キロメートル離れた所で被爆しました。顔から胸にかけて大火傷を負った傷痕から体にウジ虫がわいて、そのウジ虫が肉を食い破る痛さに耐えかね、布を切る裁ち鋏で皮膚を切り裂いてウジ虫を取り出したそうです。その後せつかく授かった2人の子どもは、産まれて間もなく身体中から出血をして死亡。それは母が浴びた放射能のせいだということは明らかです。私も甲状腺機能障害で手術を余儀なくされました。これが原爆の怖さ、核兵器の怖さだと思います。



パルコプのホームページでは、各地域活動委員さんたちのメッセージや組員さんに募集した「平和へのメッセージ」を見ることができます。←スマートフォンならこちらから